



## 新年のごあいさつ

社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会

あべ かずひこ  
会長 阿部 一彦

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、皆さまにとっては、ご苦労の多い一年だったかと思えます。そのようななかで、8月に開催された東京パラリンピック大会は、無観客ではありましたが、私たちの日常生活に感動と活気を与えてくれました。そして、アスリートの方々の躍動が、障害理解への意識と関心を、日本社会に広げてくれたと感じます。

また、昨年成立した障害者差別解消法の改正により、事業者による合理的配慮の提供が義務化となりました。私たち障害者を取り巻く環境は、さらに大きく変わっていきます。法律の円滑な運用を待つだけでなく、私たち自身が、障害理解の促進の発信者、実践者として、地域で活動していくことも肝要です。何に困っているのか、困難さを取り除くためにはどのような配慮が必要なのか、或いは自分ができることは何なのか等を相手に伝え、相互理解を深めながら、成熟した共生社会をめざして取り組んでまいりましょう。

日身連は、“私たちのことを私たち抜きに決めないで (Nothing about us, without us)” の精神をもって、行政機関や民間事業者と連携し、障害者団体だからこそできることに努めてまいります。そして、全国の加盟団体並びに賛助会員の皆さまをはじめ、障害関係者、団体、そして、企業の皆さまのお力添えをいただき、多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現をめざし、活動に邁進したいと思います。どうぞ、ご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、すべての皆さまにとってよき一年となりますよう祈念し、年頭のごあいさつといたします。



発行所  
社会福祉法人  
日本身体障害者団体連合会  
(中央障害者社会参加推進センター)  
発行人 阿部 一彦  
東京都豊島区目白3丁目4の3  
ディアダックビル4階  
TEL 03-3565-3399(代)  
FAX 03-3565-3349  
<http://www.nissinren.or.jp>  
Japanese Federation of  
Organizations of the  
Disabled Persons (JFOD)  
年間購読料 正会員1部 300円  
非会員1部 1000円

## 日身連の要望事項を検討 第2回定例理事会

各ブロック及び政令市などから寄せられた要望事項の検討を主な議題として、12月16日に第2回定例理事会がオンラインで開催されました。

各加盟団体からブロック等を通じて提出された要望事項は、理事会において審議し、関係府省庁へ提出されます。今年度も多くの要望が寄せられ、活発な審議が行われました。今後は、理事会での検討を踏まえ、日身連組織体制強化及び障害者施策等に関する検討委員会において精査し、内容が重複するものや、昨年度提出されてすでに関係府省庁の回答が出ているものなどについて、必要に応じて修正を行い、正副会長会で確認の上、関係府省庁へ提出することが確認されました。

会議では、そのほか第66回日本身体障害者福祉大会の実施に伴う、第1次補正予算案の検討が行われたほか、交替役員の推薦、評議員の選任など、人事に関する議案が承認されました。このうち、第1次補正予算と役員交替については、評議員会決議事項であることから、評議員会の開催方法についても併せて検討が行われ、新型コロナウイルス感染症の状況なども踏まえて、決議の省略で提案されることが了承されました。